

部局名	生涯学習部	所属名	八千代台東南公共センター	所属長名	伊藤 英久	電 話	485-6611
-----	-------	-----	--------------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	3468		事務事業名称	八千代台東南公共センター維持管理事業					短縮コード	経常	3468	臨時	
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	04	八千代台東南公共センター費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		地方自治法，八千代市八千代台東南公共センターの設置及び管理に関する条例，八千代市八千代台東南公共センターの設置及び管理に関する条例施行規則						
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
○事業概要 安全性，利便性を確保するための施設の維持管理事業。 ○事業を開始したきっかけ 市民のコミュニティ活動の推進，教養の向上及び社会教育の振興を図るため，平成元年より開始。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	6本の柱（章）	02	第2章教育文化都市をめざして					
施設の老朽化が進んでおり，計画的な修理・修繕が必要となる。						大項目（節）	02	第2節生涯学習					
						中 項 目	01	1. 生涯学習					
						小 項 目	03	(3)市民の学びの環境整備					
						細 項 目	02	②生涯学習関係施設の整備・充実					
実施計画の計画事業													
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～		計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	○八千代台東南公共センター施設									
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成23年度に実際に行ったこと： ○施設，設備の維持管理（修繕，清掃等）									
	※平成24年度に計画していること： ○施設，設備の維持管理（修繕，清掃等）									
意図 （何を狙っているのか）	○施設の安全性・利便性を確保し，利用者が安心して使用できる施設を維持する。									
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外									
区 分					単位	22年度	23年度		24年度	
						実績	計画	実績	計画	
対象指標	指標1	八千代台東南公共センターの数	所	1	1	1	1			
	指標2									
	指標3									
活動指標	指標1	センター開所日数	日	349	357	357	356			
	指標2	修繕回数	回	7	5	10	4			
	指標3									
成果指標	指標1	センター開所日数／開所予定日数（年末年始休所日除く）	%	98	100	100	100			
	指標2									
	指標3									
上位成果指標	指標1									
	指標2									
	指標3									

コード		3468		事務事業名称		八千代台東南公共センター維持管理事業		所属名		八千代台東南公共センター	
				単位	2 2 年度	2 3 年度			2 4 年度		
					実績	計画	実績	計画			
事業費 (A)	財源内訳	国		千円	0	0	0	0	0		
		県		千円	0	0	0	0	0		
		地方債		千円	0	0	0	0	0		
		一般財源		千円	12, 427	7, 156	7, 269	7, 163			
		その他		千円	3, 374	3, 639	2, 667	3, 556			
	主な事業費の内訳			消耗品費122千円 光熱水費5, 384千円 修繕費788千円 通信運搬費52千円 保険料24千円 委託料4, 718千円 使用料12千円 工事請負費4, 704千円	消耗品費122千円 光熱水費5, 697千円 修繕費288千円 保険料24千円 委託料4, 652千円 使用料12千円	消耗品費122千円 光熱水費4, 728千円 修繕料687千円 保険料24千円 委託料4, 363千円 使用料及び賃借料12千円	消耗品費100千円 光熱水費5, 184千円 修繕料655千円 保険料23千円 委託料4, 554千円 使用料及び賃借料203千円				
	人件費 (B)			千円	4, 299. 9	4, 226. 4	4, 226. 4	4, 226. 4			
ト ー タ ル コ ス ト (A) + (B)				千円	20, 100. 9	15, 021. 4	14, 162. 4	14, 945. 4			

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由			
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている		上位の施策である市民の学びの環境整備を推進するために実施しており結びついている。			
			☐ 結び付くが見直しの余地がある					
			☐ 結びつきが弱い・ない					
			☐ 評価対象外事項					
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		利用者の安全性，利便性確保のため，老朽化の進行する建物の整備や，日常の維持管理は継続して事業を実施していく必要があるため。			
			☒ 達成していない					
			☐ 評価対象外事項					
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		公民館，男女共同参画センターとの複合施設であり，一体的な施設維持管理が必要であるため。			
			☒ 可能性はない					
			☐ 評価対象外事項					
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい		所期目的の変更はなく，現状の「対象」・「意図」の設定で結果に結び付くため。				
		☐ 見直す必要がある						
		☐ 評価対象外事項						
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2，3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある		施設の維持管理に係る必要最小限の業務委託，緊急性の高い修繕を優先に行っているため。			
			☐ 効率性向上の可能性はある					
			☐ 両方可能性はある					
			☒ 可能性がない					
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等					
			☐ 再任用職員及び臨時的任用職員等の活用					
			☐ I T 化等の業務プロセスの見直し					
			☐ 受益者負担の見直し					
			☐ 類似事業との統合・役割見直し					
			☐ 上記以外の方法					
	⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある					
			☐ ない					

コード	3468	事務事業名称	八千代台東南公共センター維持管理事業				所属名	八千代台東南公共センター
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			施設が平成元年築であり，老朽化が進行していることから，緊急性の高い改修，修繕を順次行う。また施設の維持管理に必要な委託を行うことで，利用者の安全性，利便性確保のための事業を実施していく。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			施設の老朽化が進行していることから，突発的な改修，修繕が発生する可能性があり，コストの増加が見込まれる。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☐	☒		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
○備品等の充実 ○施設の老朽化への対応									

所属長コメント	施設の維持管理については，築２０年以上が経過し，施設のほか備品・設備についても利用者の安全・安心を第一に，緊急性の高いものから補修を行っていく必要がある。 また，利用の促進を図り，使用料の増収につなげるため，特に利用者の高齢化に対応した施設の改修等について，今後検討をしていきたい。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
	☐ その他								
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☒ 現状のまま継続									